

定例教育委員会（12月度）議事録（要点筆記）

1. 開会及び閉会に関する事項

○開催日時 令和7年12月9日（火）
開会15時15分 閉会16時08分

○開催場所 直方市役所8階 第808会議室

2. 出席者及び欠席委員の氏名

○出席者 教育長 山本 栄司
教育委員 篠田 尊徳 中野 昭子
阿部 英子 内藤 誠治

○欠席者 なし

3. 教育長、教育委員および傍聴人を除く外、出席した者の氏名

| | | | |
|-----------|--------|-------------|-------|
| 教育部長 | 宇山 裕之 | こども育成課長 | 岩尾 栄子 |
| 学校教育課長 | 林 教司 | 文化・スポーツ推進課長 | 船越 健児 |
| 学校教育課管理主事 | 井手上 大輔 | 教育総務課長 | 石橋 剛 |
| 規模適正化推進係長 | 青山 齊史 | 学校教育係長 | 守田 雄樹 |
| 教育総務係長 | 天野 浩輔 | | |

4. 教育長の報告

別添資料参照（教育委員会行事報告、教育委員会行事予定）

5. 議題及び議事の大要

○議案（議案書は別紙）

| 議案番号 | 内容 | 結果 |
|----------|---|----|
| 主管課 | 趣旨 | |
| 議案第 19 号 | 令和 7 年度 12 月補正予算について（追加） | |
| 各 課 | 提案根拠…直方市教育委員会事務委任規則第 2 条第 1 項第 4 号 の規定により提案 議案概要…補正予算（追加）の説明 ※詳細は資料を参照 | 可決 |

委員意見質問、特になし。

○協議事項

なし

○報告事項

●令和 7 年 12 月定例議会一般質問について【宇山部長】

12 月定例会一般質問のうち、教育委員会に関与する項目について説明

※詳細は資料を参照

委員意見質問

中野委員 紫村議員の質問の 2 について、説明をお願いしたい。

宇山部長 趣旨は、5 歳児で健診したら、ちょうど小学校への繋ぎになることから、国はこれを二、三年以内ぐらいには必ず実施することとしているが、直方では実施しないのかとの質問。これについては子育て・障がい支援課の答弁であるが、一応決められた期限内には実施しないといけないが、現在年間の健診回数が決まっている中で、実施するには、今の状態では保健師の人的な問題等があるとのことであった。

中野委員 直方市はやっていないのか。

宇山部長 現時点ではやっていない。

内藤委員 紫村議員の 1 の教員の働き方改革についてのところで、残業時間が中学校の先生の 6 割が 45 時間超で、小学校の先生の 7 割は 45 時間以内で収まっているということでいいか。

教育長 部活動があるので、中学校の先生の方がどうしても多くなる。

- 内藤委員 45 時間を超えている先生は、どれくらいの時間なのか。
- 林課長 先生によって、時間の差はかなりあるが、それを平均するとそのぐらいになるというところではあるが、ただ多い人はかなり多い。毎月残業時間を学校から報告させて、管理主事が確認をして、定例校長会議で時間を報告しているので、多い人については、校長から個人的に指導するという形をとっている。
- 内藤委員 部活で土日に出勤すると、それだけで時間が増えてしまうのでは。
- 林課長 中学校でいうと、やはり部活動が終わってから、次の日の準備等をして帰るようになるので、どうしても小学校よりは時間が長くなる。
- 教育長 今働き方改革が言われているが、現在、教職員は残業というのは特別認められてなく、教職調整額というのが代わりに付けられている。これが当初法律化されたときは、大体その調整額の金額が約 4% 付くということで、それは残業時間にしたら、月約平均 8 時間の残業手当を一律全員に支給するという話でスタートした。ところが先ほどから言っているように、今は 8 時間ぐらいでは済まない。それを調整額で、よく新聞等で働き放題ということで揶揄されるところはそういうところであるが、やはりそれはいくらなんでも働きすぎ、やりすぎだろうということで、現在 4% であるが、2031 年までに段階的に 10% まで引き上げられる予定である。ただ法律がどうということだけではなく、教員というのは聖職で、子どものことに関して犠牲になって頑張るのは当たり前の話だという全般的な流れでずっとやってきているというところもある。
- 内藤委員 労働基準法の範疇には入っているのか。
- 宇山部長 対象外ではないか。
- 内藤委員 40 時間を超えたなら駄目だという指導でやってきているので、衝撃的な内容である。
- 教育長 法律ができた頃は、平均したら本当に教員の月の平均の残業時間は 8 時間程度だったそうである。だからちょうどそのときはニーズに合っていた。ところが時代が進んで、今現在はそういう状況になってしまって、変えないといかんだろうと。とはいっても中学校は部活動があるので変えようがないので、今、地域移行という話になってしまっている。

●直方市文化芸術審議会委員について【文化・スポーツ推進課】

報告概要…直方市文化芸術振興条例第 8 条の規定に基づき設置する直方市文化芸術審議会委員について、学識経験者 2 名、文化芸術活動に関する団体の代表者 3 名、その他市長が適当と認めるもの 1 名の委員の選

出を行うものである。

※詳細は資料を参照

委員意見質問

中野委員 今 6 名決まっているということだが、条例では 10 名以内となっているが、今後委員を増やす可能性はあるのか。

船越課長 確かに条例では 10 名以内をもって組織するとなっているが、今回、この審議会は 6 名でスタートして、今後も基本的には 6 名で計画の策定までは進めていこうと考えている。

中野委員 先ほど宇山部長の説明の中にもあったが、直方市には市民劇場というのがあって、かなり歴史も古く、年 6 回公演もされている。ぜひ演劇の方の団体からも一人入っていただいたら、もっと充実した委員活動ができるのではないか。

船越課長 そのご意見については、草野議員からも 12 月議会の一般質問の中でご意見をいただきいて、その答弁の中でも答えてているが、いろんな意見については幅広く聴取していく必要があると考えている。委員だけでは、全ての課題や現状を把握するのは難しいところがあるので、この文化芸術審議会の中では、関係者、専門の代表の方を招聘して、審議会に参加していただきて、そこで現状であるとか課題を意見聴取するタイミングをつくるようにしている。その中で、演劇であるとか吹奏楽等の意見は聴取させていただきて、答申に反映させて、計画に反映させていくというような手続きで進めていくことにしているので、ここ以外の意見を排除するようなことではなく、幅広く意見を聴取し進めていきたいと考えている。

○その他

●1 月行事について【学校教育課】

委員意見質問、特になし。

●グローバル人材育成進捗報告【学校教育課】

12 月 6 日に海外派遣事業報告会を行った。1 名インフルエンザで欠席となつたが、コーディネーターの株式会社タイガーモブからも参加いただき、プログラムの内容説明や子どもたちの発表など大成功で終えることができた。

委員意見質問、特になし。

●二十歳のつどいについて【文化・スポーツ推進課】

令和8年1月11日日曜日、14時からユメニティのおがたにて行う。現在、招待状を発送している。

委員意見質問、特になし。

●直方市学校規模適正化基本計画案のパブリックコメントについて

【教育総務課長】

基本計画案について、11月定例委員会において決定し、現在パブリックコメントを実施中。パブリックコメント終了後、1月定例会において再度審議をお願いする予定。計画案の中に複式学級の速やかな解消という項目があるため、場合によっては臨時の委員会の開催をお願いすることになることから、その際は日程の調整等お願いしたいと考えている。

委員意見質問

内藤委員 現時点で、意見は何件出ているのか。

石橋課長 現時点では1件提出されている。

●会議録署名委員の指名について

中野委員を指名

6. 閉会

(署名)
直方市教育委員会教育長

山本栄司

(署名)
直方市教育委員会教育委員

中野昭子